



環境未来都市 北九州市

報道発表資料 : 平成31年1月17日(木)

環境局循環社会推進部循環社会推進課 電話:093-582-2187

課長:中村、計画係長:川崎

環境局環境監視部産業廃棄物対策課 電話:093-582-2177

課長:佐々木、指導係長:小畑

北九州市内海岸へのポリタンクの漂着について (第2報)

平成31年1月16日(水)に、本市若松区の海岸に計42個のポリタンクの漂着を確認、回収しました。また、昨年12月18日(火)に同海岸で回収したポリタンクの内容物の分析結果が出ましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今後も本市海岸へのポリタンクの大量漂着が懸念されます。

本市では、北九州市危機管理マニュアル「危険物品等の大量漂着対策マニュアル」に従い、海岸線のパトロール等を行い、「市民の安全の確保」の取組みを実施いたします。

記

1 若松区北西部海岸へのポリタンクの漂着について

- (1) 回収日 平成31年1月16日(水) 計42個回収
- (2) 発見の経緯 本市環境局職員がパトロール中に発見
- (3) 回収個数等 ・今回発見、回収したポリタンクは、これまでに漂着したものと同形状(約20リットル、色は青27個、白5個、緑8個、黄1個、茶1個)。
・回収したポリタンクのうち、39個にハンゲルの表記があった。
・また、6個に酸性を示す液体が入っていた。

2 発見した場合の取扱い

漂着したポリタンクには有害な液体や物質が含まれている恐れがあります。これらの漂着物を発見しても、決して手を触れずに北九州市環境局産業廃棄物対策課まで(TEL:093-582-2177)ご連絡下さい。



【漂着したポリタンク(平成31年1月16日)】

【今シーズンの漂着状況】

日付	漂着場所	漂着数 ()は内数					
		ハンゲル	中国語	英語	日本語	不明	合計
(既報) 12月18日(火)	若松区 北西部海岸 岩屋海岸、逆水を中心に点在	39	1	1	0	35	76
	容器内に有害な液体を含むもの	(16)	(0)	(0)	(0)	(1)	(17)
(今回) 1月16日(水)	若松区 北西部海岸 岩屋海岸を中心に点在	39	0	0	0	3	42
	容器内に有害な液体を含むもの	(6)	(0)	(0)	(0)	(0)	(6)
累計		78	1	1	0	38	118
	(内数)容器内に有害な液体を含むもの	(22)	(0)	(0)	(0)	(1)	(23)

(参考) 過去のポリタンク漂着状況

年	漂着数	うち有害な液体含有数
平成20年2月～20年4月中旬頃	802 個	81 個
平成21年1月～21年2月末頃	236 個	64 個
平成21年12月～22年2月上旬頃	322 個	1 個
平成22年12月～23年4月中旬頃	436 個	3 個
平成23年12月～24年4月中旬頃	99 個	7 個
平成24年11月～25年4月上旬頃	163 個	19 個
平成25年12月～26年3月中旬頃	141 個	43 個
平成26年12月～27年3月中旬頃	134 個	25 個
平成27年12月～28年3月中旬頃	95 個	4 個
平成28年12月～29年3月下旬頃	73 個	10 個
平成29年12月～30年4月上旬頃	162 個	3 個

3 平成 30 年 12 月 18 日に漂着したポリタンクの内容物の分析結果について

■ 分析結果(分析機関:北九州市保健環境研究所)

pH(水素イオン濃度指数) ^{注1)}	1.1
塩化物イオン(g/L)	57
硫酸イオン(g/L)	3.5
その他の陰イオン(g/L) (フッ化物イオン、亜硝酸イオン、臭化物イオン、 硝酸イオン、リン酸イオン)	ND(定量下限値未満)
銅(mg/L)	0.059
モリブデン(mg/L)	0.056
鉄(mg/L)	0.52
その他の重金属類(mg/L) (カドミウム、鉛、砒素、セレン、クロム、マンガ、 亜鉛、アンチモン、ウラン、ニッケル)	ND(定量下限値未満)

注1)10 倍希釈して測定した値。

※ 分析結果から、ポリタンクの内容物は塩酸であると考えられます。また、重金属類も確認されています。

- 塩酸は、医薬品、食品、金属、電気電子工業などの原材料として、極めて幅広く使用されています。また、10%未満に希釈されたものは、トイレ用洗剤としても市販されています。
- 強酸性の液体で、目や皮膚に触れると炎症を起こします。臭気によっても、のど、鼻などの粘膜を刺激して咳が出ます。
- 金属を腐食します。塩酸自体には爆発性も引火性もありませんが、金属と反応した場合、可燃性の高い水素ガスが発生します。

このため、塩酸の取り扱いには注意が必要です。